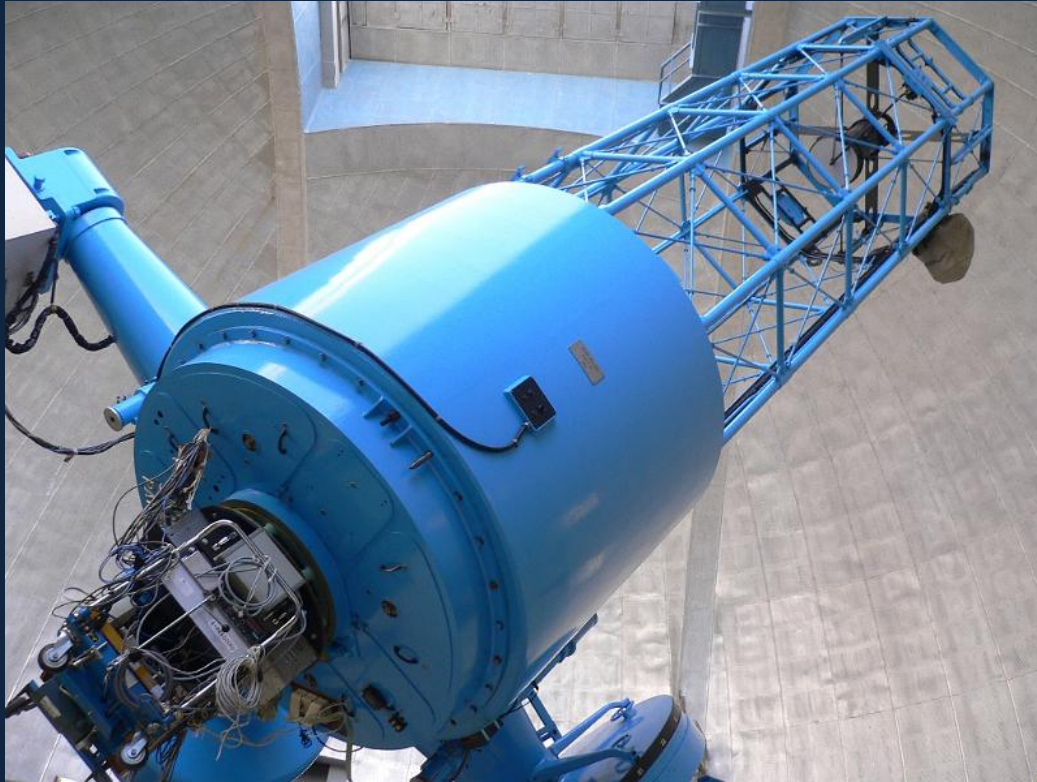


HBSの状況報告

— 2011.8~2012.8 —

岡崎 彰 & HBSグループ

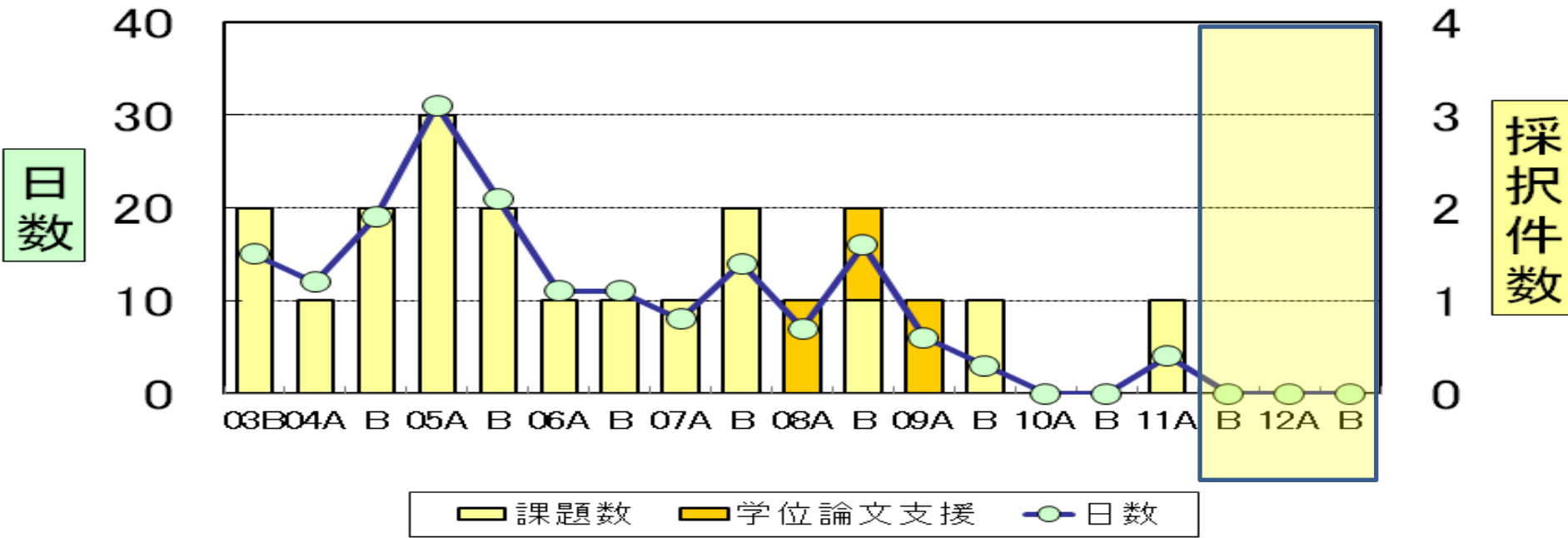


HBS 運用状況の推移

188cm鏡へ移行後（装置取付日を除く）

03年後期	2課題	15夜
04年前期	1課題	12夜
後期	2課題	19夜
05年前期	3課題	31夜
後期	2課題	21夜
06年前期	1課題	11夜
後期	1課題	11夜
07年前期	1課題	8夜
後期	2課題	14夜

08年前期	1課題	7夜
後期	2課題	16夜
09年前期	1課題	11夜
後期	1課題	3夜
10年前期	0課題	—
後期	0課題	—
11年前期	1課題	4夜
後期	0課題	—
12年前期	0課題	—
後期	0課題	—



保守状況

- 受光器

2005年5月の取り付け以降、Andor CCD カメラは概ね順調

2012年1月、「共同利用に支障を与えない範囲で」西はりま天文台へ貸出
その後、西はりまで順調に作動中（報告が随時あり）

- 光学系

2008年10月観測期のグレーティング交換 効率やや向上

- 制御系

2008年5月のHBS改修作業以後、
ほぼ順調に作動

2011Aの共同利用(3月上旬)
の後、1年半以上の空白期間



今後のHBSについて（その1）

- 利用頻度が大幅に減少（過去3年間6期で1課題）
→ 未使用期間の長期化
- 現在生産されてない古い型のPC等を使用
→ 装置内の一部システムの老朽化
- HBSグループ要員が以前に比べて忙しくなっている
→ 観測サポート体制の困難化
- 可視領域を含む別の偏光分光装置が他機関で開発されつつある
→ HBSの役割が相対的に小さくなりつつある

今後のHBSについて（その2）

2013年前期から共同利用での運用を停止したい

- 少なくともHBS利用者のMLでは、今後HBS観測ができなくなった場合に支障があるとの意見はなかった。
- 過去のHBS共同利用観測のデータ解析等に関する従来のサポートは今後も引き続き行う。
- 運用停止の場合、HBSは国立天文台に返却する。
- 返却後も、HBSグループとしては天文台側の要請に応じて、移送作業等の各種実作業には、できる限り協力していく。

— 観測成果 —

- 観測成果の出版

- これまでに出版された成果(累計)

- 査読論文 13篇、博士論文 5篇、修士論文 17篇

- 最近出版された査読論文(過去3年間)

- Isogai et al. (2010) ... Z And, AJ, 140, 24
 - Matsumura et al. (2011) ... Interstellar Pol., PASJ, 63, (No.5), L43-L47
(他に、近く投稿予定があり)

- 学位論文(過去1年間) 該当なし